1　国語

学校番号	3020

令和２年度　国語科

教科	国語科	科目	国語総合	単位数	５単位	年次	１年次
使用教科書	「精選国語総合　現代文編」「精選国語総合　古典編」（筑摩書房）						
副教材等	「高校生のための近現代文学エッセンス　ちくま小説選」（筑摩書房）など						

1 担当者からのメッセージ

・「たくさん読むこと」と「たくさん書くこと」
　国語は「どれだけたくさんの文章を読み、どれだけたくさんの文章を書くか」ということによって、その「基礎力」は大きく変わっていきます。「読書力」「語彙力」そして「文章力」を自分の将来に必要な能力としてしっかりと身につけていくように「たくさん読むこと」と「たくさん書くこと」を心がけてください。
・古典の世界への興味関心を育む。
　古典の世界はとても豊饒な世界です。でも、自分からその世界を理解していこうとしなければその豊かさを知ることはできません。古典の世界を知る姿勢を大切に育てていってください。
・言葉の使い方に敏感になる。
　「正しく伝えていると思っているかもしれないが、実は伝わっていない。」コミュニケーションの実態は意外にそんなものです。「言葉の使い方に敏感になる」ということは「他者に対して敏感になる」ということ。正しい言葉の知識を蓄えると同時に、自分の言葉として表現することを大切にして、意見交換などの場で真の「コミュニケーション力」を鍛えてください。
・国語力養成のためには日常の予習復習が鍵となります。継続的な学習を心がけてください。

2 学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査 小テスト	記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	評論1	【近代以降】 教材: 「デジタル社会」 「開かれた文化」 「結ばれていく時間」 「〈わたし〉のいる場所」 ワークシート	○		○	◎		a:話題について根拠を明確にして意見を述べようとしている。 c:論理の構成や展開を工夫して適切な表現の仕方を考えたり、書いたりしている。 d:文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意し、論理的構成を把握しながら読んでいる。	a: 行動の観察と確認 c、d: 記述の分析及び定期考査
	小説	【近代以降】 教材: 「羅生門」 「蜜柑」 ワークシート	○	◎		○		a:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえようとしている。 b:話題について様々な角度から検討して自分の考えを持って話そうとしている。 d:文章に描かれた人物、情景、、心情などを表現に即して読み味わっている。	a、b:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査
	古文入門・物語1	【古典】 教材: 説話『宇治拾遺物語』「児のそら寝」「絵仏師良秀」 物語『伊勢物語』 「芥川」「東下り」 文法等…歴史的仮名遣い、文語の用言の基礎 ワークシート	○				◎	a:伝統的な言語文化へ多様な方面から迫り、 そうした文化の独自の性格やその価値に気付こうとしている。 e:古文を読むことに役立つ、文語の決まりを身につけている。	a: 行動の観察及び記述の点検 e: 記述の確認及び定期考査
	漢文入門・故事1	【古典】 教材: 「訓読のきまり」 『列子』「朝三暮四」 『戦国策』「借虎威」 『孟子』「五十歩百歩」 ワークシート	○				◎	a:伝統的な言語文化へ多様な方面から迫り、 そうした文化の独自の性格やその価値に気付こうとしている。 e:漢文を読むことに役立つ、文語の決まりを身につけている。	a: 行動の観察及び記述の点検 e: 記述の確認及び定期考査

2学期	評論2	【近代以降】 教材: 「失われた両腕」 「ことばとは何か」 「演じられた風景」 「瓦を解かないこと」 ワークシート	○		◎		○	a:自分の考えが、根拠から妥当な論理展開で導き出されていることを相手に分かりやすく示そうとしている。 c:書く相手や書く目的を実現するのにふさわしい文章の形態や文体、語句などを考え適切に選んでいる。 e:書くことに必要な語句、文章の形態の違いによる特色について理解している。	a: 行動の観察及び記述の点検 c: 記述の確認及び定期考査 e: 定期考査及び小テスト
	小説2	【近代以降】 教材: 「棒」 「夢十夜」 ワークシート	○	◎		○		a:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 b:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いて話をしている。 d:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a: 行動の観察及び記述の点検 b: 記述の確認及び定期考査 d: 記述の分析及び定期考査
	日記1・随筆・軍記	【古典】 教材: 『土佐日記』「門出」「帰京」 『徒然草』「ある人、弓を射ることを習ふに」 『平家物語』「木曾の最期」 文法…助動詞・敬語の基礎	○			◎	○	a:文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図を捉えようとしている。 d:語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読みとっている。 e:国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。	a: 行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認及び定期考査
	唐詩・史伝・文章	【古典】 教材: 唐詩「江雪」「贈別」 『十八史略』「管鮑之交」「死諸葛走生仲達」 韓愈「雑説」 句法…否定形・使役形 ワークシート	○			◎	○	a:文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察しようとしている。 d: 語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読みとっている。 e:国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。	a: : 行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認及び定期考査

3学期	評論3	【近代以降】 教材: 「魔術化する科学技術」 「感性の考古学」 「マルジャーナの知恵」 ワークシート	○		○	◎		a:話したり聞いたり話あったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、ものの見方、感じ方を豊かにしようとしている。 c:文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを適切に書き分けている。 d:文章の組立てや骨組みを的確にとらえている。	a: 行動の観察及び記述の点検 c、d: 記述の確認と分析及び定期考査
	物語2・日記2・俳諧	【古典】 教材: 『竹取物語』「かぐや姫の嘆き」 『更級日記』「東路の道の果て」 『奥の細道』「平泉」 文法等…文語の助詞のまとめ				◎	○	d: 語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読みとっている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト及び定期考査
	思想	【古典】 教材: 『論語』、『孟子』 句法等…疑問・反語形・受身形 ワークシート				◎	○	d: 語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読みとっている。 e:中国の文化の受容とその変容とを繰り返しつつ築かれた日本の言語文化を理解する。	d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。